

ミスミグループ本社 2022年3月期 第2四半期 連結業績

～グローバルで設備投資や稼働の回復が継続、
売上高、利益ともに半期決算として過去最高を更新～

株式会社ミスミグループ本社は本日、2022年3月期 第2四半期累計期間（2021年4月1日～2021年9月30日）の連結業績を発表しました。主な業績数値は以下の通りです。

(百万円)	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	増減率
売上高	143,302	182,238	+27.2%
営業利益	9,126	28,494	+212.2%
純利益	6,708	20,831	+210.5%
1株当たり純利益	23.63円	73.31円	

<2022年3月期第2四半期累計期間の連結業績ハイライト>

1. 昨年から取り組む収益改善効果、売上の回復等により大幅増益

- 当第2四半期累計期間における世界経済は、コロナ禍からの回復が進み、グローバルで製造業の設備投資や稼働が堅調に推移、中国に牽引される形で国内含む全地域で需要が回復しました。一方で、力強い需要を背景に、半導体など一部の部品で品薄状況が生じ、また、一部地域では新型コロナウイルス感染症の影響によりサプライチェーンが混乱するなどの懸念材料も顕在化しました。
- こうした環境において、当社はメーカー事業と流通事業を併せ持つユニークな業態を活かしながら、これを支える事業基盤をグローバルで進化させ、顧客の确实短納期ニーズに応えることで世界の製造業を中心とした自動化関連産業に貢献しています。
これまで当社が築いてきた IT、物流、製造の強固な事業基盤やグローバル拠点網を活用し、新型コロナウイルス感染症の影響や地政学的なリスク等の環境変化にも対応することで世界の顧客に安定供給を継続いたしました。
- この結果、連結売上高は1,822億3千8百万円、前年同期比27.2%増(現地通貨ベース22.2%増)となりました。利益面につきましては、売上高の回復および昨年度より継続して取り組んでいる収益改善の効果により、営業利益は284億9千4百万円(前年同期比212.2%増)、経常利益は286億9千4百万円(前年同期比215.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は208億3千1百万円(前年同期比210.5%増)となり、売上高、利益ともに半期として過去最高を更新しました。

2. 第1四半期に続き全事業セグメントで高成長を継続

- 2022年3月期第2四半期累計期間のセグメント別売上高は、以下の通りとなりました。

	売上高(百万円)		増減率	
	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	円ベース	現地通貨 ベース
FA事業	47,810	59,073	+23.6%	+18.5%
金型部品事業	31,028	37,515	+20.9%	+14.8%
VONA事業	64,464	85,649	+32.9%	+28.5%
合計	143,302	182,238	+27.2%	+22.2%

- FA事業は、中国が継続して成長したことに加え、国内を含めすべての地域で回復が継続し、23.6%の増収となりました。
- 金型部品事業は、アジア、米、欧で自動車関連需要の回復が見られ、売上高は前年同期比20.9%の増収となりました。
- VONA事業は、グローバルでの旺盛な自動化需要により、前年同期比32.9%の増収となりました。

3. 海外各地域とも増収が継続し半期売上高として過去最高を更新

- 2022年3月期第2四半期累計期間の地域別売上高は、以下の通りとなりました。

	売上高(百万円)		増減率	
	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	円ベース	現地通貨 ベース
日本	71,222	87,157	+22.4%	—
海外	72,080	95,081	+31.9%	+22.1%
中国	30,375	37,786	+24.4%	+11.3%
アジア	19,501	26,984	+38.4%	+30.6%
アメリカ	12,594	16,395	+30.2%	+26.0%
ヨーロッパ	7,232	10,304	+42.5%	+31.9%
その他	2,376	3,611	+51.9%	+39.1%

- 日本では半導体関連が引き続き堅調に推移し、前年同期比22.4%の増収となりました。
- 海外各地域とも堅調に推移し、前年同期比で31.9%伸長しました。

4. 第2四半期末の配当金は18円33銭、前年比12円42銭増

- 当社は、持続的成長と企業価値向上を実現するための経営基盤拡充、財務体質の強化、資本効率の向上などを総合的に勘案し、株主還元方針を定めております。
- 配当に関しては、配当性向25%を基準に決定しておりますため、当第2四半期末の1株当たり配当金を18円33銭(前年比12円42銭増)とさせていただきます。
- 期末配当予想については、前回予想を2銭下回る12円65銭(前年比3円47銭増)に修正いたしました。

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想		12円67銭	31円00銭
配当性向		25.0%	25.0%
今回修正予想		12円65銭	30円98銭
配当性向		25.0%	25.0%
当期実績	18円33銭		
前期実績	5円91銭	9円18銭	15円09銭
配当性向	25.0%	25.0%	25.0%

5. 2022年3月期連結業績予想を修正

通期の連結業績予想につきましては、第2四半期累計期間においてグローバルで製造業の設備投資や稼働が堅調に推移し、同期間の売上、利益が2021年7月30日公表の業績予想を上回ったことから、以下の通り修正いたします。

2022年3月期 連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株当たり 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想(A)	354,000	45,500	45,200	33,000	116.14
今回予想(B)	356,000	48,500	48,500	35,200	123.87
増減(B-A)	+2,000	+3,000	+3,300	+2,200	
増減率(%)	+0.6%	+6.6%	+7.3%	+6.7%	
前期実績	310,719	27,199	27,189	17,138	60.36

[業績予想に関する留意事項]

この資料に掲載されている2022年3月期の見通し及び将来に関する記述部分につきましては、国内及び諸外国の経済状況、各種通貨の為替レートの変動、業績に影響を与えるその他の要因等、現時点で入手可能な情報をもとに、当社グループが合理的であると判断した一定の前提に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの将来に関する記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な要素により、これら業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には当社グループを取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートなどが含まれます。

2022年3月期第2四半期の連結業績の詳細は、決算短信をご参照ください。

この件に関するお問い合わせ
株式会社ミスミグループ本社
コーポレート・リレーション室 IR・SR チーム
Tel: 03-5805-7037 Fax: 03-5805-7014
mail: cc@misumi.co.jp